

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高校	私立 慶風高等学校	田原 サヨ子
学校所在地		
〒640 - 1363 和歌山県海草郡紀美野町田 6 4 番地 Tel 073 (498) 0100 fax 073 (474) 5156		
担当者名		役職名・担当教科
裕 和也		教諭・数学科
<p>〔学校の概要〕 本校は、平成 17 年 4 月広域通信制課程普通科の高等学校として、海草郡紀美野町に開校しました。「愛情をもって根気よく」の指導理念のもとに、教員と生徒相互の温かい人間関係を通じ、生徒一人ひとりの能力・適性を考慮し、自分の希望の進路に向かって努力する生徒を育成しています。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1・2・3 年生 31 名	6 名 職員 3 名	高野山（中央公民館・壇上伽藍～金剛峰寺）
実践研究テーマ		
世界遺産としての高野山を知り、その素晴らしさを体感する。		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目 「高野山への道」	高野山を体感しよう	
<p>〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土学習 体験学習</p>		
<p>〔単元目標〕 (1) 高野山の歴史や高野山への道を調べ、先人の偉業を学ぶ。 (2) 世界遺産についての知識を深める。 (3) 県世界遺産マスターの説明を聞きながら、高野山の奥深さを体感する。（現地学習）</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 16 時間 （「世界遺産について」映像・資料 1 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター …… 次世代育成事業（現地学習）</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	授業 ・和歌山県立博物館発行「世界遺産・高野山の歴史」を読む。 ・空海について調べる。	・高野山の歴史を調べると同時に、平安時代の宗教が21世紀まで続いて存続している理由を考えさせ、レポートにまとめさせる。	・高野山や空海について理解できたか。
2	授業 ・世界遺産として高野山と高野山町石道について調べる。 ・高野山参詣道について調べる。	・インターネットで検索し、町石道と他の参詣道も調べ、レポートにまとめさせる。	・世界遺産としての高野山への視点をもつことができたか。
3	授業 ・高野西街道について調べる。	・資料を配布する。 ・レポートにまとめる。	・歴史遺産が身近にあることに気付いたか。
4	DVD鑑賞 ・NHK「空海 ～歴史ヒストリア」	・空海の間像を端的に理解できる。	・ワークシート
5	令和3年11月9日（火） 次世代育成事業 ・壇上伽藍～金剛峰寺までを、解説を聞きながら歩く。	・「世界遺産センター」の職員の方に講話をしていただく。 ・県世界遺産マスターの方に、詳しい説明をしていただきながら歩く。	・感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
成果 学習内容を書物や資料を通して知るだけでなく、実際に「歩く」という行為を通じて、その「場」に身をおくという経験をすることで知識を体得できた。			
課題 今後、このような知識と体験ができるような機会を、年間指導計画に入れていくことを考える必要がある。			
〔世界遺産学習の効果〕			
「壇上伽藍」から「金剛峰寺」までを歩く体験学習は、「歴史」と「宗教の荘厳さ」を感じさせることができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
世界遺産学習とは、人類の歴史を学ぶことに他ならないが、先人たちが築いた遺産を未来へ残すためには、自分たちがどのように何をすべきかという未来への視点をもつことができるようにしたい。			

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

令和3年11月9日(火) 現地学習

生徒感想文(抜粋)

- ・高野山は、空気が澄んでいて、心が軽やかになりました。雨が降っていて、すごく寒い日でしたが、紅葉がきれいでした。
- ・世界遺産に登録されることも大変だが、それを維持していくことも大変だということがわかりました。高野山の街並みや風景、建造物などは、たくさんの人の力で守られていると思うと、歴史の重みを感じることができました。
- ・金剛峯寺は、とても趣があり、立派な建物でした。僕は歴史が好きなので、見入ってしまいました。
- ・壇上伽藍には、たくさんの建物がああり、それぞれが歴史を感じさせるものでした。
- ・世界遺産マスターの方に、壇上伽藍にあるそれぞれの建物がどのような目的で建てられたのかを丁寧に説明してもらい、よくわかりました。
- ・重機のない時代に、険しい山の上にこんなにも大きな建物を建てたことに感動しました。そして、これからも守っていかなければいけないと思いました。
- ・世界遺産マスターの方に、建物を火災から守るためのスプリンクラーや雨水を溜める桶があちらこちらにたくさんあることや中門の四天王像の胸にトンボやセミが付いていることを教えてもらいました。

